



発行所 福井県大野郡和泉村 下穴馬 912-02 中竜 912-03

(昭和46年4月1日現在)

村の人口

出生 3人 死亡 1人 転入 5人 転出 31人 総人口 2,386人 男 1,237人 女 1,149人 世帯数 659世帯

村の面積

332.60 km²

今月の目標

- 1 春の防犯運動に協力しよう
2 夜のひとり歩きはつしみにしよう
3 外出のときは、戸締りを忘れないように
4 火災の多いシーズンです。火の始末は完全にしましょう。

昭和四十七年度一般会計

四億三千八百十二万一千円を計上

特別会計 二千五百八万五千元

和泉村財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより、村の財政事情を公表します。

この財政事情は、村民の皆さんに村財政の現況をお知らせし、その実態と村政の動きを充分ご認識いただくためのものであります。

数年来驚異的な成長をとげてきた日本経済は、四十五年後半から景気停滞に加えて、昨年八月米国の新経済政策により、一段と不況の色を深めた。

このため国においては一一兆四六七六億にものぼる超大型予算を組んで景気回復をはかり、地方財政も同一の基調をとることとされたが、一兆円にものぼる財源不足となり、地方財政は非常な危機に立つた。このため、国の特例交付金と借入金による地方交付税の確保、地方債の増額等の財政措置がなされた。

このような状況のもとに本村は昭和四十七年度予算の編成となり「過疎対策」「社会資本の整備」「社会福祉の充実」等財政需要の増大に対して、村税等の伸びが期待できず苦しいものとなった。

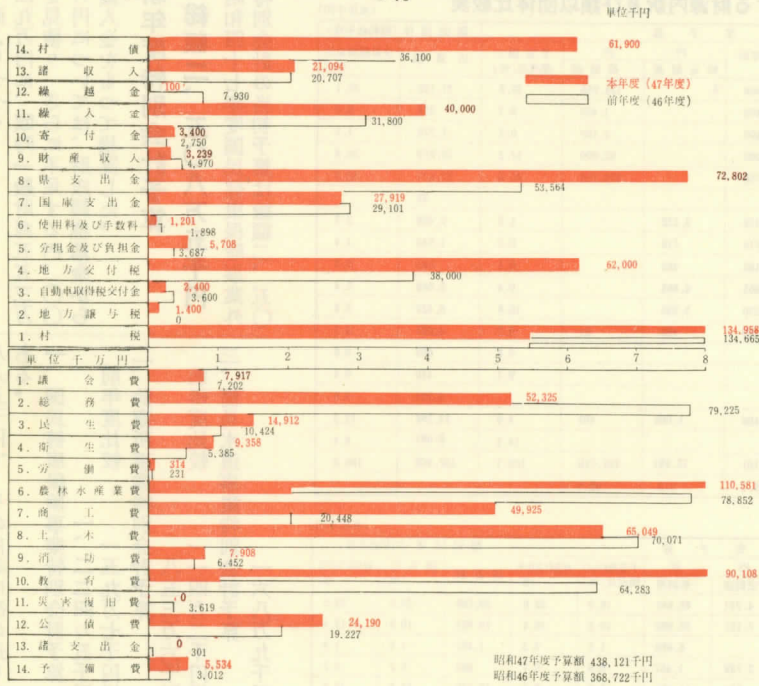
新年度一般会計予算の総額は四億三八二万一千円で前年度に比し六、九三、四万九千円の増額となっている。ま

た国民健康保険事業外三特別会計予算の総額は二、五〇八万五千円となった以下その概要について述べます。

最近の急激な経済の発展は、地域社会に著しい変貌をきたし、各種の問題を惹起した。なかでも都市における過密現象と農山村における過疎現象は、日本の地域構造、地域社会の崩壊をもたらし、現在なお進行中である。当村においても、過疎の問題は部落の存続ひいては村の存続にも繋がる深刻な問題であり、これが対策に頭をいたしているところである。過疎からの脱出をはかり、住みよい村造りのため、地域格差の是正を第一とし、そのため交通通信網の整備を最重要として村道改良舗装に二、五〇一万円、橋梁整備に一九〇一万四千円、県道改良舗装の地元負担金に一、〇〇〇万円、林道新設改良に七、一一七万円を計上した。

次に過疎対策上からも、これからの本村三大施策の一つとして「観光の和泉」の推進にあたり長年の懸案であった角野スキー場の開発について、整地費等二、〇〇〇万円計上し、いよいよ工事に着手することにした。また、自然との調和を保ちながら、いこいの場として、九頭竜湖畔に万本の桜を植えて花の名所とするため、本年度植樹分

和泉村一般会計歳入歳出予算 47年度款別比較図



として、一、二〇〇万円を計上した。来るべき一億総レクリエーション時代に対処するものです。
次に、将来を担う青少年の健全育成のため、学校教育、社会教育の充実を図り、朝日小プール建設に五七六万円

同寄宿舎建設に九一五万円、村民グラウンド建設に一、〇〇〇万円計上し、社会教育、社会体育強化のため県より二名の職員派遣を請けた。また本村の学校に勤務して下さる先生方のために、今年昨年大納地区に建築したように、今年

は朝日地区に一、九六八万八千円で教職員住宅を新築することとした。次に、昨年度から始めた老人医療の無料化に引き続き、今年度は母体の健康保持と乳幼児の保健と体位向上を図るため母子栄養食品の無償支給の実施等、社会福祉の向上と住みよい環境造りのため民生費に一、四九一、二二〇万円を計上し、衛生費に九三五、八千円を計上した。次に、産業面においては、商工業者の金融緩和のため原資として二、〇〇〇万円を計上することとした。また、三年目をむかえた振興山村特別開発事業は、下山地区に一、一三八万円で、ほ場整備を行なうこととした。「森林の和泉」の推進について、その基盤である林道の整備は先に道路交通網の整備で述べたとおりですが、本年度から三年間林業構造改善の追加事業が始まりその第一年目として、作業道開設用のトラックシヨベル一台、ダンプロトラック一台の購入のほか、資本装備高度化事業、協業推進事業として、一一二万円を計上した。また、米の減反政策等曲り角にきた農業について、その多角的経営を計るよう、シイタケ、ナメコ、黄蓮等の奨励補助を行なうこととした。ダム湖や河川への放流事業として本年もアマゴ二〇万匹、ヒメマス八万匹の放流を予定し、二〇〇万円計上した。

これら歳出予算総額四億三、八二二万一千円の財源として、村税一億三、四九五万八千円、地方交付税六、二〇〇万円を主とする一般財源二億二、一〇〇万円、国庫支出金、負担金等の特定財源一、三、八九万一千円を含む経常的歳入二億一、一〇〇万円を見積もった。また、建設事業等臨時的な経費に対する財源には、国庫支出金および県支出金九、二六二万六千円、地方債六、一九〇万円を主とする特定財源一億七、二面へつづく

子供の疑問にはやさしく答えましょう

大野 勝山 地区

広域市町村圏計画書完成

大野勝山地区広域市町村圏協議会

昭和四十六年七月に指定され、十月一日「大野勝山地区広域市町村圏協議会」として発足した。事務局を大野市役所に置き、本村から一名、大野市と勝山市から各二名、県地方課から一名

最高百万円迄借用できます

申し込みは和泉村商工会へ

和泉村内で商工業を営む小規模事業者の事業活動を促進し、健全な育成に資するため「和泉村商工業振興資金融資要綱」を定め、最高一〇〇万円まで融資することになりました。

融資対象

- 一、本村住民で、一年以上同じ事業を続けており村商工会の会員である事
二、資本金五〇〇万円以下または、常時従業員十人以下の会社または個人
三、村税の完納者であること
四、貸付金返済が確実と認められる者
五、過去一ヶ年不渡処分を受けなかつた者

「大野勝山地区広域市町村圏計画書」



策は要望事項として折り込んだ。実施計画 当面する昭和四十七年度から四十九年度の三ヶ年に実施する事業を具体的に計画されている。

◇旧年度未払税金の有無を確かめましょう(五月二十日まで)

一面よりつづく
七四九万円に、臨時一般財源五五三万円を見積り、さらに不足する四、〇〇〇万円については、財政調整基金からの繰入金をもつて措置した。

新年度特別会計予算

総額二、五〇八万五千元

昭和四十七年度国民健康保険事業外三特別会計の当初予算は総額二、五〇八万五千元で、その内訳は次の通りである。

- 一、国民健康保険事業特別会計予算 一、二二四万五千元
二、診療所事業特別会計予算 一五九万七千元
三、簡易水道事業特別会計予算 一六八万九千元

前年度比較
「家庭の日」目標
家族みんなが、いたわりあい助け合おう
子どもにも楽しみを与えよう
*母に感謝しよう

昭和47年度一般会計予算における財源内訳及び類以団体比較表

Table showing financial breakdown for 1972 (昭和47年度) with columns for district, budget amount, and various financial ratios.

2、性質別経費の状況

Table showing detailed breakdown of expenses by nature (性質別経費) for 1972, including categories like personnel costs and maintenance.

底辺の拡大をねらい

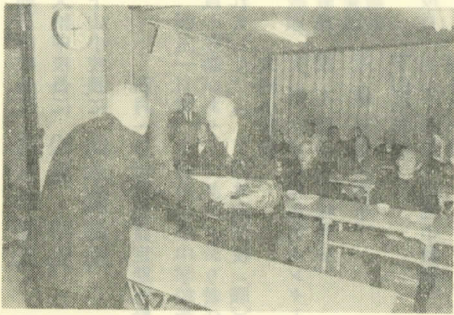
レクリエーション部を復活

昭和47年度体協事業計画きまる

和泉村体育協会

和泉村体育協会は、四月二十日総会を開き、昭和四十六年度の事業報告と決算承認のあと、昭和四十七年度の事業計画と予算の審議を終りました。おもな計画は次のとおりですが、今年も指導者難のため、久しくとだえていたレクリエーション部を復活し、誰でも参加して楽しめる「穴馬おどり」「やんこらせ」などのほか、フオークダンス等もとり入れることにしました。

また、八月中旬に行なわれる県体以前年の実績による選考が多いことを改め、六、七月中に予選会を行ない新人の台頭を期待する。また、選手自体にも選ばれた「誇り」と「精進」を積んでもらおうと申し合わせた。これは県大会のみならず、村を代表して出場するあらゆる大会も同じことで、今後



村長からスコッチライトを受ける谷口老人会長

選手、役員ともに一段と内容の充実と健闘を期待しています。

和泉村体育協行事計画

五月 スポーツ教室(卓球、バレー)

六月 ソフトボール県体予選会

七月 卓球、庭球等県体予選会

八月 第24回県民体育大会参加

八月 第8回村民ソフトボール大会

八月 第8回村民ソフトボール大会

十月 第15回村民体育大会

十一月 スポーツフェスタ

十二月 第8回県スポーツ少年大会参加

一月 スポーツフェスタ

一月 スポーツ少年卓球大会

二月 第15回奥越スキー選手権大会

二月 スキーパッチテスト

二月 県クラブ対抗スキー大会参加

二月 第24回村民卓球大会

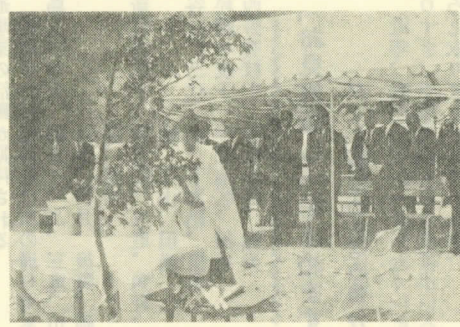
三月 第24回県民体育大会冬期大会参加

三月 スキーツアー、スポーツフェスタ

ダム開き祈願祭

ようやく観光地として脚光を浴びてきた九頭竜ダムも、昨年四十万人を越す観光客を迎え、かつてないにぎわいをみせた。今年も道路も一段と整備され受け入れ態勢も逐次整いつつあるので観光客はさらに増加するものと考えられる。この程、観光の中心地、箱ヶ瀬地区で、交通安全、湖上無難、商売繁盛を

祈願して今年の事業始めの儀式として始めてダム開き祈願祭が挙行された。主催は村観光協会、観光業者共栄会が共催し、業者一同の他に村内有志が参列、野山の緑に先がけて山桜やコブシの花が咲き競う中に、ささやかながら誠心のこもった式典を終りました。



ダム開き祈願祭の様

角野部落で火事?

消防団出初式

恒例の本村消防団出初式は四月二十三日、朝日中学校グラウンドにおいて挙行され、辻団長以下精鋭一五一名が勢揃いして、模擬火災、一勢放水試験、分列行進など平日頃の訓練の成果と、

団結の範を披露した。その一挙手一投足は、確い信念の上に、時宜に成じた適格な判断の元、敏速、果敢、積極に行動する姿は、さすがに県下に誇る伝統ある消防団に、ささやかに、参観している村人達に大きな期待とともに、全幅の信頼を深めさせた。最後に、永年本村消防団のために功労のあつた方に感謝状、功労章および永年勤続章等の表彰があり出初式を終了した。

日赤募金に協力を

日本赤十字社は、国際赤十字社から大きな期待を寄せられています。赤十字社の役割は誠に大きく、国内における各種事業の充実をはかることはもとより、援助事業をはじめとする国際的な事業活動の拡充につとめ、内外の要請を期待にこたえるべく全力を傾注しております。

牛乳が無償でもらえます

妊産婦と乳幼児に

本村では、母子の栄養強化のため、本年四月一日より乳幼児および妊産婦に対し乳製品(牛乳一本「一日一人当り」または粉ミルク)を無償で支給することになりました。該当の方は、次により申請されますようお知らせします。

- 一、受給該当者
- 一、妊産婦
- 一、乳幼児
- 二、受給期間
- 一、妊婦については六ヶ月間
- 一、産婦については三ヶ月間
- 一、乳幼児については生後四ヶ月以降九ヶ月
- 三、受給申請方法
- 栄養食品の支給を受けようとするものは母子栄養食品支給申請書に母子手帖を添え村長に申請する。
- 用紙の請求、受付は和泉村役場または中電支所へ

No.50 オヤジの山み

赤は→
とまれ

青は→
すすめ

すまむが
たのむ!!

赤一本

◇みのある程頭の下がる稲穂かな

少しの注意で防げる大火

朝日中学校長に 清水卓郎氏
大納中学校長に 松島 功氏
下山小学校長に 山本龍馬氏

四月一日付教職員定期移動

四月一日付、本村の各小中学校教職員の移動があり、つぎのとおり着任されました。()内は前任校(職)

- 大納小学校 大沢和郎(村教育センター)
教諭 橋本信子(下味見小)
養護 近藤清子(新卒)
校長 下山小学校 山本龍馬(尚徳中教頭)
校長 朝日中学校 清水卓郎(県教育庁指導課)
教諭 前川幸一(陽明中)
野村みち子(大納中)
北風貴美子(打波小)
笠松雅福(新卒)
大納中学校 松島 功(旧有中)
校長 新屋喜久男(大納小教頭)
教諭 福田徹郎(打波中)
橋本幹雄(城崎北小)
山田勝一郎(新卒)
皆川洋子(新卒)
教育センター 土肥信次(社教主事)
指導 島田文夫(有終西小)
社教 杉原精一(阪谷小)
主事 水口政隆(下山小学校)
大野市蔵生小
校長
朝日学而(朝日中)
大野市陽明中
朝日憲平(朝日中)
丹生郡四ヶ浦小
加藤節子()
敦賀市西愛発小
海貝和代()
福井市大愛寺小
米村鴻一(大納中)
乾側小教頭
畑中光治()
福井市東小

牧田小英子()
官崎ひとみ(大納小)
若泉とよ子()
武生市白山小
惜しまれて勇退

古川 将氏(朝日中学校長)

古川先生は、昭和九年下半原小学校を振出しに三十八年間、その間、大納小学校二年、朝日中学校長五年を最後に勇退されました。

昭和47年度交通安全計画決まる

道路パトロールを 五月上旬中に (村交通安全協会)

春の交通安全全村民運動(四月六日から十五日まで)に始まった和泉村交通安全協会の昭和四十七年度計画が、次のとおり決定しました。

- 四月 交通安全事業計画(昭和47年度)
全教室、街頭指導
五月 交通安全全村民運動、交通安全教室、道路パトロール
六月 夏の交通安全全村民運動、職場安全運転管理者講習会、交通安全教室(自転車講習)
七月 街頭指導、道路パトロール
八月 秋の交通安全全国運動、和泉村交通安全週間(交通安全パレード)
運転車講習会
十月 運転車講習会
十一月 年末年始飲酒運転車絶滅運動
十二月 交通安全教室(各団体事業所)

二月 凍結期における事故防止運動
三月 四十八年度事業計画策定予算
決算

母子保健推進員を委嘱

母子保健事業の推進を計るため、村内の妊産婦を訪問し、妊産婦の相談相手となつて保健指導にあたり、健康な赤ちゃんづくりにと、活動を推進すべく母子保健推進員が五名委嘱された。去る四月十五日和泉村役場において母子保健推進員の委嘱書の交付式に引き続き研修会を開催、大野保健所の佐々木婦長から妊産婦に対する保健指導のしかたや、今後の推進員のありかたなどについて、推進員としての知識を高め、活動の重要性を認識した。

これからは妊産婦、乳幼児検診にも協力されるので、今後の母子保健の推進事業の活動が期待される。

- 委嘱された推進員は次の通りである
島田 朝日一、二、三班、川合 貝血、伊月、後野、両前坂、担当
新屋喜代子 朝日四、五班、角野、板倉、下山、担当
谷口三代 上、下大納、担当
松崎小夜子 中竜地区、担当
西野香枝子 中竜地区、担当

「お見舞返し」を止めます

!! 上大納区の生活改善 !!

近年、食生活等が「ぜいたく」になりすぎ、生活そのものの改善がいろいろと取りざたされています。上大納部落では、今冬公民館活動の中で、この問題をとりあげ、意見の交換をしまして、最近、最良の、最も身近な問題として、その一つに、最も身近なお見舞返しについて、送る側も派手になったが、その返しについても、だんだん金額が上がり、お返しの品選びに

頭を悩ますことがしばしばあるというところで、今年一月から、部落外は、他の附合いなどの都合もあり、「部落内は、お返しをしない」ことを全員一致で申し合わせました。

ぜんまいを買います わらび

和泉村農業協同組合

例年より半月程早い春の訪れで、新緑も一雨ごとに濃くなつて、山菜類の採集季節となりました。

和泉村農業協同組合では、今年も、わらび、ぜんまいなどの買い上げを始めました。少しでもけつこうです。農協までご持参下さるか、ごれんらく下さい。

なお、採集にあたっては、次の点に注意して下さい。

- 一、山菜類は「アク」が強いので、あらかじめその日のうちに出荷して下さい。
二、なるべく隣近所まとめて共同出荷していただければ好都合です。
三、規格、その他くわしいことは、農協係までお問合わせ下さい。

交通事故相談所開設

大野市役所 毎月第二火曜日

昭和四十二年度から開設されている交通事故相談所の本年度は、次のように開設されています。
交通事故の為、いろいろと心配されておられる方は、ご相談下さい。
常設相談所 福井県庁(毎日)
移動相談所 大野市役所(毎月第二火曜日)
大野市市民会館(毎日第三水曜日)
(本村最寄りの相談所)

人のうごき

【出生】

- 上大納 田上正勝 次徳 二男
上大納 河元光春 西正 二男
上大納 笠松春美 春夫 三女

【死亡】

- 後野 三嶋五兵 八二才

タニシ

タニシは、何事かあると内から蓋をビシヤリと閉じてしまう。そんなタニシをうらやましがってどじょうが声をかけた。

「あんたのお城は丈夫ですか、中から蓋をしめたが最後、外からは手が出せぬ。結構な身の上じゃ」：タニシは「お前たちがほめるほどでもないがまあ何とかやっていますわい」と卑下自慢していた。

そのとき、バツツと音がした。タニシはビシヤリと蓋を閉じて考えた。「今のは何だろう、トンビだろうかこれだから城がなければダメなのだ。ドジョウのやつらうまく泥の中にもぐれたかな?心もとないことだが俺は助かった」：しばらくして、もうよからうと、そり顔を出した。何となく勝手が違うのでよくよく見れば、旅館の流し台にあるザルの中、近くにシュンシュンとよくお湯がわいていた。...

さて広報いずみも紙令一六八号ささやかな四頁ではあります、村民と共に広く「カラ」にこだわらずの紙面づくりに努力しています。

